



平成30年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
 「認知症の人の家族等介護者への効果的な支援のあり方に関する研究事業」

認知症の人とご家族の空白の期間を解消するための冊子作成

目的

本研究事業は、認知症の人を介護する家族が直面する課題である認知症の疑いから何らかの支援に結び付くまでの期間、および認知症の診断直後において、専門職と早期に繋がり充実した支援に結び付くことを促進するための冊子を作成することが目的です。

概要

主な事業内容

- 全国の認知症疾患医療センターを対象にした質問紙調査の実施
 認知症疾患医療センター（基幹型、地域型、連携型）に勤務する相談担当職員。方法は、郵送による質問紙調査で配布430件、回収181件、回収率42.1%でした。これにより、診断後支援の好事例を集めQ&A方式の事例集を作成しました。
- 諸外国の早期支援に関する文献調査
- 委員会の開催により早期支援のあり方の検討

主な結果・成果

1. 早期支援につながることを促進を目的にした市民向け冊子 「もしも気になるようでしたらお読みください」

認知症という言葉に抵抗がある本人や家族も、思わず手に取り開きたくなること、読み進めるにつれて認知症への偏見が和らぐこと、読みやすくシンプル、そして汎用性が高く読むことで早期に専門機関に繋がることを目指した冊子を作成しました。諸外国の文献、冊子などを読み込み、日本に適応させました。

2. 診断後支援のための専門職向け事例集

「Q&Aでわかる診断後の認知症の人とご家族の支援方法」

認知症疾患医療センターにおける支援事例集。違和感を覚える人もしくは診断直後に困惑する本人や家族の空白の期間を解消するための支援に役立つ冊子を調査結果から作成しました。

1. なぜ、診断後の家族支援が必要なのでしょう
2. 診断後の支援方法があるのでしょうか
3. Q&Aでわかる診断後の家族支援(9事例)
4. 認知症疾患医療センターにおける家族支援終結の考え方

「もしも気になるようでしたらお読みください」



仕様: B5カラー 45ページ
 (配布先: 都道府・市町村自治体、地域包括支援センター他関係機関)

「Q&Aでわかる診断後の認知症の人とご家族の支援方法」



仕様: A4版2色刷り、35ページ
 (配布先: 認知症疾患医療センター他関係機関)

成果物

○研究事業報告書: 全国の都道府県、関係団体に送付するとともに、当センターウェブサイトに掲載。

